

令和7年度 学校評価アンケート（職員まとめ）

令和7年12月24日

1	中期学校経営方針を知っているし、理解している。
2	学校評価の自己評価や外部評価を基に、授業の改善や学校行事の見直しをしている。
3	「横浜版学習指導要領」に示されている、横浜の子どもをばぐむための学校教育全体計画を職員が協力して作成している。
4	学習内容と評価基準を明確にした年間計画を各教科で作成し、生徒保護者に提示している。
5	小中一貫カリキュラムの編成に向けて、小中学校間の交流や連携を深めている。
6	小中学校間の連携を深めるため、公開授業等を通して、学びの連続性をはかれるように努めている。
7	学校として計画的・組織的に進路指導に取り組んでいる。
8	進路に関して、自己理解を深め、進路の希望を持ち、希望する進路の情報を適切に選択できる能力を培う指導をしている。
9	「生きる力」をはぐむキャリア教育の推進を図っている。
10	一人ひとりの個性に応じた進路指導に取り組み、充実を図っている。
11	教育相談を活用するとともに、日常の声かけや相談活動を意識的に行っている。
12	指導部や学年を軸とし、一人ひとりの生徒について情報の共有化を図っている。
13	指導部や学年を軸とし、組織的に取り組んでいる。
14	規範意識をはぐむため、マナー・モラルに関する課題を様々な場面で取り上げている。
15	校外学習や学校行事・部活動などの指導で、3年間を見通した学習活動を展開している。
16	スクールカウンセラーや外部機関との連携を深めた指導を行っている。
17	学級指導や授業・委員会活動を通して、自己の健康を適切に管理、改善していこうとする意欲や態度を培う指導をしている。
18	学校防災計画を作成し、危機管理訓練を定期的に行い、各対策、体制の確認を行っている。
19	危機管理に関する研修を進め、教職員の危機管理意識を高める努力をしている。
20	特別に支援が必要な生徒の情報や指導の手だて等を全職員で共有している。
21	特別支援教育の必要な生徒について、教育計画が作成されている。
22	特別支援学級生徒の個別指導計画が作成され、実施されている。
23	特別支援学校との交流や、個別支援学級と普通学級の子どもの交流が計画的に実施されている。
24	全教職員が協力して学校を運営していこうと努力している。
25	小中交流、授業力改善などを旨とした公開授業を実施し、学習方法について小中間での意見交換や教科の枠を超えた協議を行い、共有化している。
26	研究部・指導部を中心に、教育課程や生徒指導などの研修を計画的に行っている。
27	経験の浅い教職員を育てるような組織になっている。
28	P T Aと教職員が協力し教育活動に取り組む風土ができています。
29	学校便りや学年便りにより、各行事の報告なども含めて情報の発信に努めている。
30	学校ホームページの更新により、各行事の報告なども含めて情報の発信に努めている。
31	教職員・生徒が地域行事に関わり、積極的に参加している。
32	施設・設備の安全、維持管理に関して、定期的な点検を行うとともに、教職員の連携により、改善を行っている。
33	資源ゴミの分別やリサイクルなど、環境整備に関して、年度当初や時期を捉え、共通理解を図りながら、技術員と連携をとり全教職員で取り組んでいる。

職員回答結果

設問No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	#
今年度	平均	2.8	3.0	2.9	3.6	3.3	3.4	3.2	3.4	2.9	3.2	3.6	3.6	3.6	3.4	3.4	3.7	3.4	3.3	3.3	3.6	3.7	3.2	3.0	2.9	3.6	3.3	3.4	3.2	3.4	2.9	3.2	##
昨年度	平均	3.1	3.1	2.9	3.3	3.2	3.4	3.4	3	3	3.2	3.5	3.3	3.3	3.2	3.2	3.4	3.3	3.2	3.2	3.2	3.2	2.9	3.2	3.1	3.1	2.9	3.2	3.4	3.5	3	3.3	3

「4」… 思う 「3」… 大体そう思う 「2」… あまりそう思わない 「1」… 思わない

